

ドイツ・ピュアシュタット市 体操祭へ参加して(抜粋)



ドイツピュアシュタット市で3年に1度開催される体操祭へ参加してきました。

7月12日(月)から19日(月)までの8日間の日程で、皆野中学校の1年生18人が秩父音頭をアレンジしたCダンスを披露。13カ国25チームの参加者と交流しました。

ピュアシュタット市訪問の感想を抜粋で紹介します。

小澤 君香

私は、1週間ドイツに行きました。3年に1度あるピュアシュタット市体操祭にCダンスをするためです。

1週間の中で観光やCダンスの発表をしました。観光では、ハイデルベルクやライン川、ワイン畑を見たり、お土産を買ったりしました。写真もいっぱい撮りました。

ホームステイ先では、ドイツならではの食事をしたり、少しドイツ語を話したりしました。初めて食べたものもありました。

体操祭では、いろいろな国の人が集まってダンスパフォーマンスをしました。

私は、日本での練習の成果を生かして全力で頑張りました。そしたら他の国の人も仲良くなれました。嬉しかったです。

1週間はあっという間に過ぎていきました。この旅行で経験したことやこれから生かして、またみんなと楽しく行きたいです。

内田 大翔

ドイツに行って、一番初めに驚いた事は、文化の違いです。むこうのホストファミリーの人にも、とても親切にしてもらえました。

Cダンスを踊る前は、とても緊張したけれど、日本の代表として、一杯がんばれました。表彰式まで、集中してできました。

ドイツに行くという、貴重な体験ができてよかったです。

嶋野 太一

ぼくはドイツに行つて、うれしいサプライズがありました。それは、誕生日祝いしてもらったことです。

まず、幼稚園にCダンスを踊りに行つたら、サプライズで幼稚園の子たちに、歌と絵をもらいました。歌は言葉がわからなかったけど、すごくうれしかったです。

その後のダンスはすごくのびのび

とできました。

ダンス大会では、1回目は会場が満席ではなかったで、緊張せずにできました。でも、2回目は会場が人であふれかえつていました。なので自分たちの番が近づくとつれて、緊張がしてきました。でも、こま

でやってきたのですべてだしきりた

いと思ひ、がんばりました。なので自分では、1番よくできました。

ぼくはドイツに行つて、いろいろ学び、いろいろ楽しめました。いい思い出になりました。

長島 史織

私はドイツに行つて、色々なことを体験し、たくさんのかを学びました。

その中でも印象に残っていることの1つは、サンクトゴアという場所に行つたことです。船に乗ってライン川を渡りました。その日は天気もよく、船からはたくさん城が見られました。どの城も緑に囲まれていて、自然が多くていい町だな、と思いました。

TSGホールでCダンスをしたことも強く印象に残っています。会場は予想以上に広く、とても緊張しました。日本の参加者として、日の丸を背負っていると思うと、不安でいっぱいになりました。しかし、ステージに立つと観客の人の温かい声援により、緊張もほぐれて、自分でも驚くほど楽しくおもいきって踊れました。

他国の人も交流でき、翌日の新聞にのるなど、大成功でした。今までの練習の成果を全て出しきれました。あの18人のメンバーで踊れて、本当によかったです。

今回ドイツに行くにあたって、たくさんの人に感謝をしなければいけないと思います。

1週間家に泊めてくださったホームステイ先の方にはとても

感謝しています。毎日おいしい食事をいただいたり、とても助かりました。また、いっしょにゲームをしたり、週末には色々なところへ連れて行ってくださり、心優しく接していただけて、毎日とても楽しかったです。

ほかにも引率していただいた町長さん、先生方、また家族にも感謝したいです。

そして、今回の貴重な体験をもとに学んだことを生かして、これからの生活に役立てて行きたいです。

峯 友希

僕がドイツに行つて一番初めに思ったことは会話についての不安でした。初日の夜1つの会話です。時間がかかって、次の日からのことがもつと心配になりました。そして次の朝ヴィッターさんが、「オハヨゴザイマス。」と日本語で言いました。僕はすごいびっくりしました。それからは本を見ながら日本語を使ってくれました。そのおかげでかんたんな会話もでき当初の不安はなくなりました。1週間の間のヴィッターさんの優しさに感謝感謝です。Cダンスを踊ったときは、踊る前はちよつと緊張したけど、いざ踊り出したら日本より全然緊張せずに踊れました。しかもその後にはヴィッターさんがビデオをとっておいでしてくれてとてもうれしくなりました。

ドイツでの1週間の生活はとても楽しかったです。また皆でドイツに行きたいかと思いました。

新井 芹菜

7月12日(月)、いよいよ私たち皆野Cダンスチームは、日本からドイツに向かいます。当日は、バス・飛行機の中で早く着かないかと思つていました。

ドイツ・フランクフルト空港に着すると日本とは、色々なものが違つて、「すごいな。」と思いました。ピュアシュタット市に到着すると、市長さん、ホームステイ先の方々に歓迎していただき、ホームステイする家に向かいました。

家は、新しく、部屋も大きかったです。家の方々も、やさしく気をつかっていたいただきました。時差ボケして、すぐ寝てしまいました。

体操祭は、ドイツ時間で15日と17日に行われました。1回目は、他国の方々が私たちのダンスの真似をしてくれたり、盛り上げてくれたけど、すごく緊張していました。2回目は、緊張したけどこれで最後なんだと思ひ、楽しめました。披露した2曲以外に、秩父音頭も踊りました。終わつた後は、達成感と、今まで練習してきた本当によかったという気持ちでいっぱいでした。

体操祭以外にも、ライン川下りをしたり、ハイデルベルグでお買い物したり、ホリデーパーク(遊園地)に行つたりと、楽しい事がたくさんありました。

ドイツ最終日、「もうこととはお別れなんだ。」と思うと、泣けてきました。帰国フライトが終わって、成田空港に到着して1番最初に「日本食を食べたい。」と思いました。

今思い返すと、色々なことがありました。ドイツの町並みや食・生活文化を知ることができて良かったです。一生忘れられない思い出ができました。

ドイツ派遣に関わつた皆様、私た